

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：ベネッセ 菊名保育園	種別：認可保育所
代表者氏名： 牧谷 泰子	定員（利用人数）： 60名（56名）
所在地：〒230-0076 横浜市鶴見区馬場7-7-15	
TEL：045-580-7101	
ホームページ： <a href="https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/">https://hoiku.benesse-style-care.co.jp/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）	株式会社 ベネッセスタイルケアこども・子育て支援カンパニー	
職員数	常勤職員： 17名	非常勤職員： 10名
専門職員	保育士 15名	看護師 1名
	栄養士 3名	幼稚園教員免許 1名
	調理師 2名	
施設・設備の概要	(居室数) 保育室4室、調理室1室、事務室兼医務室1室、職員休憩室1室、相談室1室、	(設備等) 木造2階建ての建物で、1階に幼児保育室、給食室、事務所、面談室、2階に乳児保育室、洗濯室、休憩室を設置しています。警備会社による安全管理を行い、入口はテンキー式の電子錠を使用しています。

ベネッセ 菊名保育園は、東急東横線菊名駅から徒歩11分ほどの、大通り沿いにあります。ベネッセ 菊名保育園は、2020年（令和2年）4月に株式会社ベネッセスタイルケアによって設立されました。法人の保育事業では、首都圏を中心として保育園を多数運営しています。園舎は木造2階建てで、1階に幼児保育室、給食室、事務所、面談室、2階に乳児保育室、洗濯室、休憩室があります。それぞれの保育室から直接園庭に出ることができ、窓が大きく陽光を十分に取り入れることができます。砂場がある園庭の一角では、子どもたちが花や野菜を育てています。定員は、60名（0歳児～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時30分～18時30分です。

### ③理念・基本方針

『その子らしく、伸びていく。』

#### ○保育理念

「よりよく生きる力=Benesse」の基礎を育てる

いきいきと健やかに毎日を過ごし、自信と意欲をもって未来を生きる子どもを育てます。

#### ○保育目標

##### 1. 自分で考え、すすんで行動する子ども

自分からすすんで物事に取り組む態度をもち、意欲をもって最後までがんばる子ども

##### 2. 友だちと楽しく遊ぶ子ども

さまざまな人と関わることの喜びを知りながら、楽しく遊べる子ども

##### 3. 感性豊かな子ども

さまざまな発見と感動を味わいながら、自分らしさを表現できる子ども

## ○保育方針

- ・子どもを一人の人間として尊重します
  - ① 子どもの「個性と人格を尊重」し、主体性を育てます
- ・子どもが主体性をもって、安定して生活し、成長できる環境を創造します。
  - ② 自然な生活の営みの中で、子どもが「安定感・安心感・落ち着き」を持てる室内環境をつくります
  - ③ 深い信頼関係に根ざした「豊かな人とのかかわり」を重視します
  - ④ 身の回りの「社会・自然を通しての学び」を大切にします

## ④施設・事業所の特徴的な取組

保育所保育指針に基づき、養護と教育の理念のもと、子どもたちの健やかな成長を見守っています。子どもたちが安心して過ごせる場であるよう、一人ひとりの育ちや思いを受け止め、応えていくことを大切にしています。大人も子どもも共に育ちあう『共育』の考え方を大切にし、信頼できる関係を構築する中で自分や相手を大切にしたいを育んでいます。

乳児クラスでは保育者との信頼関係を基本とし、安心・安全な環境の中で自分らしさを発揮できるようにしています。幼児クラスでは、3学年を縦割りの異年齢2クラスで編成し、子どもを主体に遊びを通した学びが得られるように配慮しています。

また、同時に、保育園を『大きなおうち』とし、家庭と同じように安らげる環境構成に努めています。伝承行事を大切にし、季節を感じられるような装飾や環境の設定に力を入れています。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年10月4日(契約日)～2023年4月28日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回

## ⑥総評

### ◆特長や今後期待される点

#### 「特長」

#### ●保育士の見守りのもと、子どもたちは安心して自分らしさを発揮し、園生活を楽んでいます

園は、子どもの姿に合わせて保育環境を整え、子どもたちが安心して、自分らしさを発揮できるようにしています。保育室には、子どもの年齢や発達、興味などに合わせておもちゃや素材が置かれていて、子どもが好きなおもちゃを選び、友だちと一緒に遊んだり、一人でのんびりと好きなことをして過ごすことができます。保育士は、子どもの発信や興味に合わせて環境を整え、子どもが主体的に取り組み、思いを形にできるように支援しています。

乳児は、担当制を取り、保育士との信頼関係の中、子どもたちが安心して、自由に探索活動を楽しめるようにしています。幼児は異年齢のクラス構成となっていて、日常的に交流しています。お店屋さんごっこなどの行事では、5歳児が中心となってリードをし、3・4歳児がそれに従うことでそれぞれの役割を果たせるようにしています。幼児のお店に乳児が買い物に行き、交流しています。卒園の際には、5歳児が調理スタッフと一緒に献立会議を開いて、1日分のリクエスト献立を作成する取り組みもしています。子どもたちはのびのびと自分らしさを発揮し、園生活を楽んでいます。

#### ●職員間で目指す方向性を統一し、連携して子ども主体の保育を実践しています

開園から2年、職員は全体ミーティングや園内研修などで、理念に沿った保育のあり方について話し合いを重ね、園づくりに取り組んできました。毎年、法人の人権研修を全職員対象に実施するとともに、クラスミーティングなどで保育の中での事例を取り上げて話し合い、子どもを主体とした保育について共通認識を図っています。新卒、2年目、異動1年目のスタッフ対象のフレッシュミーティング、危険予知のグループワーク、中堅層の職員でグループを作り、各グループでテーマを決めて話し合い業務改善を考える、アットホームプロジェクトなど、職員それぞれが様々な立場で意見を言い合い、コミュニケーションを深められるような工夫をしています。このような取り組みを通して職員は方向性を共有し、連携して子ども主体の保育を実践しています。

### ●保護者とコミュニケーションを多く取り、信頼関係を築いています

園は、保護者が園の保育を理解し、子どもの成長を共に喜べるよう、関係づくりに力を入れています。日々の送迎時には、担任を始めとして職員はそれぞれの立場で保護者とコミュニケーションを取り、保護者と信頼関係を築けるようにしています。毎日保護者向けアプリを用いて子どもの様子について情報交換するとともに、その日の保育の様子を写真とともにドキュメンテーションにまとめ、発信しています。コロナ禍のため、保護者参加行事の開催が難しくなっていますが、オンライン懇談会を開催したり、行事をビデオ配信するなど工夫しています。個人面談前には保育参観を実施しています。劇遊びの後には、写真だけでなく衣装や台本、小道具、背景を園内に掲示するなどして、保護者が行事の様子をイメージできるようにしています。このような取り組みの結果、コロナ禍での開園にもかかわらず、今回の保護者アンケートでは、全員が満足（満足が86%、どちらかといえば満足が14%）と回答しています。園では、行事のあり方を工夫して保護者が子どもの姿を直接見て、成長を実感できる機会を増やしていきたいと考えています。

#### 「今後期待される点」

### ●職員の運営についての理解をさらに促していくことが期待されます

法人作成の経営に関する事業計画を基に、園長・主任が話し合って運営計画を作成し、職員に周知しています。年度末には、運営計画の項目ごとに自己評価をし、園としての自己評価を作成していますが、職員が参画するまでには至っていません。今後は、事業計画について職員に説明して理解を促し、職員参画の基で運営計画の作成・評価を行うことで、職員の運営に対する意識を高めていくことが期待されます。

### ●地域との関係を深めるための取り組みをさらに進めていくことが期待されます

園運営計画、全体的な計画に地域との関わりについて明記し、地域との関係づくりをしています。子どもたちは、散歩や地域の店舗見学に出かけたりしています。近くの畑でおいもほりをすることもあります。地域の子育て家庭に向けて園庭開放を実施し、おもちゃの広場や保育士、看護師、栄養士による育児相談を行うなど工夫しています。ただし、コロナ禍のため、地域自治会などの地域住民と対面で話をしたり、地域の保育園や小学校と保育士や子どもたち同士が交流する機会などは持てていなく、今後の課題となっています。地域コミュニティとの協力体制作りに向けて取り組みが期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

初めての第三者評価の受審でしたが、非常に丁寧に見てくださりありがとうございます。

自己評価には職員全員で取り組みました。話し合うことで職員間の対話が生まれ、自分たちの保育を振り返るとともに園全体に視野を広げることができ、日々の保育を振り返る良い機会になりました。また保護者アンケートには多くの方がご協力くださり、園の活動を理解してくださっていることを改めて感謝しています。いただいたコメントにも温かい言葉が多く、私たちの励みになりました。

2020年4月、新型コロナウイルスが拡がり始めるのとほぼ同時に開園し、コロナ禍で従来の価値観が揺らぐ中、3年間手探りで保育をしてきました。日常が戻りつつある今、これからが新しいスタートと捉えています。これまでの経験を土台に新たな活動を加えながら、保育や地域とのかかわりなどの幅を広げていきたいと考えます。

様々な制限がある中で何よりも信頼関係を築くことを大切に過ごしてきました。その気持ちが十分に伝わっていたと感じ、とても嬉しく思っています。今後も変わらず『人』を大切にする環境を整え、丁寧な保育に真摯に努めてまいりたいと思います。

ベネッセ 菊名保育園  
園長 牧谷 泰子

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり